

# 令和6年度 北区立桐ヶ丘郷小学校 学校経営計画

桐ヶ丘郷小学校は、今年度で創立22周年を迎えます。地域性から、様々な異なる生活環境の児童が集まる学校です。活気のある校風をさらに生かしていくために、生活規律・学習規律の一層の確立が引き続き重要です。知識基盤社会が到来する中で、児童が生きる力を育てていくためには質の高い教育を提供することが大切です。これからの社会では学校が家庭や地域と連携しながら互いの教育力を向上させ、社会全体で児童を育てる仕組みづくりを進めていくことが重要です。「北区教育ビジョン 2024」のもと、学校と保護者、地域のつながりが地域の向上に寄与する価値を生み出し、児童の健やかな成長とともに、「北区子どもの権利と幸せに関する条約」の理念に基づき、社会の結束力を高め、地域全体が安定した豊かさを実現していく学校経営を目指します。

**教育目標** 人間尊重の精神、心身ともに健康で豊かな人間性と思いやりの心  
○ 思いやりのある子 ○ 深く考える子 ○ たくましい子

## 1 目指す学校

○児童の笑顔が溢れる学校 ○教職員が児童を誇れる学校  
○保護者・地域から信頼される学校

### 目指す児童像

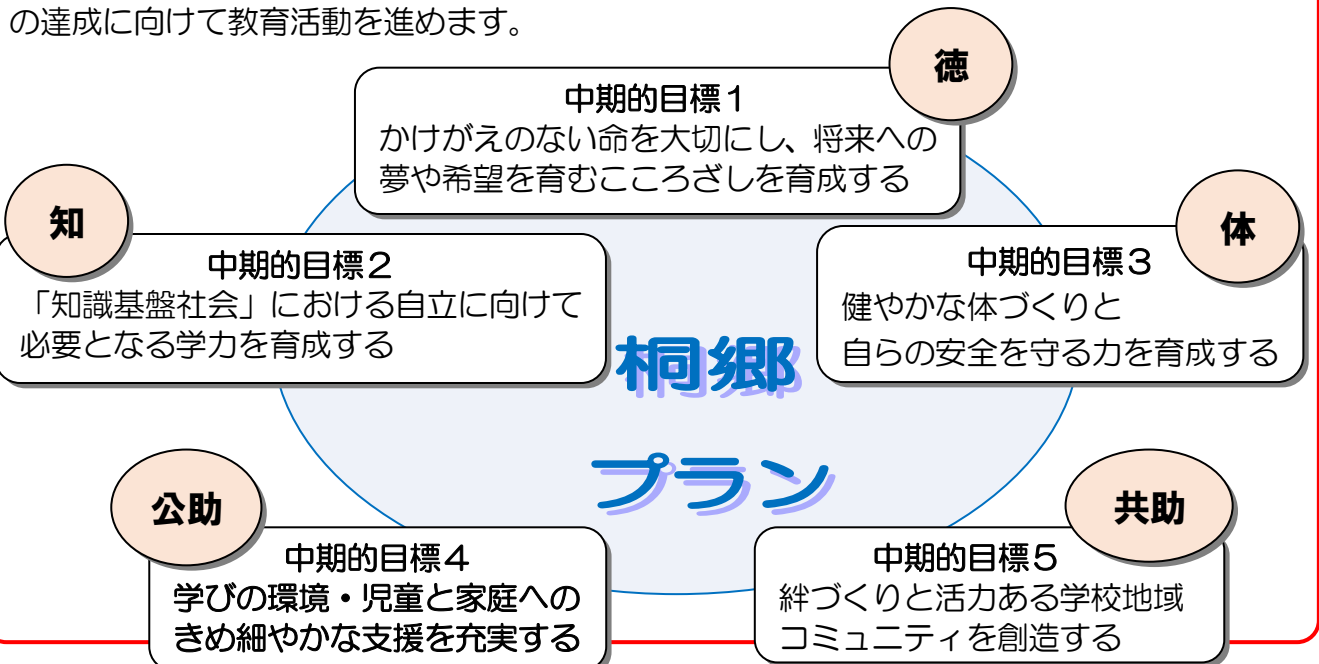
- ・人権意識をもち、互いに相手を尊重する児童
- ・自ら学び、自ら考える児童
- ・体力向上、健康づくりにすすんで取り組む児童

### 目指す教師の姿

- ・児童から敬愛され、保護者や地域社会から信頼される教師
- ・児童一人一人を伸ばす指導力のある、常に技を磨く教師
- ・公務員、組織の一員としての自覚をもつ教師
- ・職務遂行能力のある教師 ・伝統と改善に柔軟な教師
- ・協働できる教師

## 2 中期的目標と方策

桐ヶ丘郷小学校では、桐ヶ丘郷小学校行動計画「桐郷プラン」を定め、5つの中期的目標の達成に向けて教育活動を進めます。



★中期的目標1 かけがえのない命を大切に、将来への夢や希望を育むところざしを育成する

取組目標	方策 令和6年度
①人権意識を高め、命を大切に 教育の推進	いじめ不登校〇の取組・授業の実施 児童いじめアンケート実施 人権尊重月間・ふれあい月間取組充実 QUを活用した児童理解
②規範意識や思いやりの心の育成	生活習慣・学習習慣の確立 道徳授業地区公開講座の充実 桐ヶ丘心の教育ネットワーク事業 幼・小・中一貫した段階的な生活指導
③社会に貢献する責任感を育成し、 将来の生き方を考える教育の推進	将来への夢や希望を育む取組、職業人の話 法教育 社会福祉協議会との連携 キャリア教育講座 多言語体験活動
④郷土の伝統・歴史、文化・芸術に 対する理解の促進	地域への愛着を育む学習 地域の歴史や文化を学ぶ学習 資料館等社会教育施設の活用

★中期的目標2 「知識基盤社会」における自立に向けて必要となる学力を育成する

取組目標	方策 令和6年度
⑤基礎・基本を身に付ける教育の推進	基礎・基本定着度調査の活用 習熟度別学習の充実 校内研究の推進
⑥学習習慣と学習意欲の重視	学習習慣の小・中連携の推進 「学習習慣の心得」の評価・充実 読書時間増加の取組 公立図書館との連携推進
⑦自ら学び自ら考える教育の推進	UDL を基調とした授業改善 ICTを活用した授業の充実 プログラミング教育
⑧家庭教育への支援と「これからの社 会を生き抜く力」への新たな対応	保護者会での家庭教育啓発 児童館等との連携学習 地域材を活用した学習

★中期的目標3 健やかな体づくりと自らの安全を守る力を育成する

取組目標	方策 令和6年度
⑨体力の向上と健康づくりの推進	全国体力・運動能力 生活状況調査結果等の活用 スポーツタイム 専門家の参画する生活習慣病予防・薬物乱用防止教育の実施
⑩自然体験活動の充実	緑のカーテン、米作り 花壇整備 桐ヶ丘地域の自然の活用 校地内の畑及びスクールガーデン
⑪給食の充実と食育の推進	大学との連携による食育の推進 保護者への食育啓発の取組
⑫安全教育・防災教育の推進	災害発生時に主体的に適切に行動できる能力を培う学習 救急救命学習 JRC 委員会活動 日本赤十字社との連携 自治会との連携

★中期的目標4 学びの環境・児童と家庭へのきめ細やかな支援を充実する

取組目標	方策 令和6年度
⑬特別支援教育の推進	特別支援教室の指導の充実、巡回指導拠点校との連携 校内委員会活用
⑭子どもと家庭へのきめ細やかな 支援の充実	民生委員・児童委員・子ども家庭支援センター・児童相談所との連携 「学校と家庭の連携事業」推進 サポートチームの機能的運用
⑮教員の資質・能力の向上	校内研究と連携した校内OJTの実施 幹部候補者育成 相互参観の日常化による授業力向上 学校評価を活用した運営意識育成
⑯安心・安全な教育環境整備の推進	教育環境の充実、防災・防火対策の充実 学校図書館の充実、ICT（タブレット活用等）教育環境の充実

★ 中期的目標5 絆づくりと活力ある学校地域コミュニティを創造する

取組目標	方策 令和6年度
⑰保護者・地域の期待に応える学校 づくりの推進	開かれた学校づくりの推進 学校関係者評価の充実 学校広報活動の充実 一昨年度の周年関連事業で築いた連携の強化
⑱学校園間の接続や連携の推進	P T Aと協力した家庭教育学級・家庭教育講座の充実 幼稚園・保育園・中学校・高等学校との連携の充実
⑲地域全体の教育力の向上	教育ボランティアの協力 「わくわく桐郷ひろば」との連携
⑳自律的な学校経営の実現	P→D→C→A の実践 学校評価等、エビデンスに基づく評価の充実 働き方改革の推進

### 3 今年度の取組目標と方策

#### (1) 教育活動の目標と方策

##### ★ 中期的目標1 かけがえない命を大切に、将来への夢や希望を育むところざしを育成する

- 取組目標① 人権意識を高め命を大切にする教育の推進  
方策 ・学校いじめ防止基本方針に基づくいじめ・不登校〇の取組・授業の実施  
・人権尊重月間・ふれあい月間取組充実 ・QUを活用した児童理解
- 取組目標② 規範意識や思いやりの心の育成  
方策 ・生活習慣・学習習慣の確立 ・コミュニケーション能力を育成する取組  
・道徳教育の充実、私たちの道徳・東京都指導資料等の活用・特別支援学級との交流
- 取組目標③ 社会に貢献する責任感を育て将来の生き方を考える教育の推進  
方策 ・将来への夢や希望を育む取組 ・キャリア教育の推進  
・国際理解教育の取組 ・自治会高齢者の集い訪問交流活動
- 取組目標④ 郷土の伝統、歴史、文化、芸術に対する理解の促進  
方策 ・地域の歴史、文化を学ぶ学習 ・地域の社会教育施設の活用

##### ★ 中期的目標2 「知識基盤社会」における自立に向けて必要となる学力を育成する

- 取組目標⑤ 基礎・基本を身に付ける教育の推進  
方策 ・北区基礎・基本定着度調査の活用 ・「学校図書館の利活用」の取組
- 取組目標⑥ 学習習慣と学習意欲の重視  
方策 ・「学習習慣の心得」の取組 ・「家庭学習のすすめ」の取組充実
- 取組目標⑦ 自ら学び自ら考える教育の推進  
方策 ・UDLを基調とした授業改善と校内研究活動による学習指導力の向上  
・ICT活用の充実に向けた情報教育部のさらなる推進
- 取組目標⑧ 家庭教育への支援と「これからの社会を生き抜く力」への新たな対応  
方策 ・児童館・「わくわく桐郷ひろば」との連携・補充学習や長期期間中の体験学習の対応

##### ★ 中期的目標3 健やかな体づくりと自らの安全を守る力を育成する

- 取組目標⑨ 体力の向上と健康づくりの推進  
方策 ・全国体力・運動能力、生活状況調査結果の活用 日常の指導を活かした運動会
- 取組目標⑩ 自然体験活動の充実  
方策 ・地域の公園等での自然体験の充実 ・田植え体験 ・畑やスクールガーデンの充実
- 取組目標⑪ 給食の充実と食育の推進  
方策 ・食育の推進 ・早寝・早起き・朝ごはん運動の推進
- 取組目標⑫ 安全教育・防災教育の推進  
方策 ・直下型地震に対応した避難訓練の実施・日本赤十字社等と連携した救命学習の推進

##### ★ 中期的目標4 学びの環境・児童と家庭へのきめ細やかな支援を充実する

- 取組目標⑬ 特別支援教育の推進  
方策 ・専門機関との連携した指導体制・相談体制の充実 ・適切な教育的支援の充実
- 取組目標⑭ 児童と家庭へのきめ細やかな支援の充実  
方策 ・虐待問題等への組織的な対応 ・「学校と家庭の連携推進事業」の実施
- 取組目標⑮ 教員の資質・能力の向上  
方策 ・いじめ体罰防止研修、サービス事故防止月間の取組 ・校内研究 ・OJTの推進  
・異校種理解研修 ・自己申告・校内研究を活用した相互参観の日常化
- 取組目標⑯ 安心・安全な教育環境整備の推進  
方策 ・教育環境の充実（ICT環境、学校図書館、校庭、遊具、体育館等）・防災対策

##### ★ 中期的目標5 絆づくりと活力ある学校・地域コミュニティを創造する

- 取組目標⑰ 保護者・地域の期待に応える学校づくりの推進  
方策 ・開かれた学校づくりの推進 ・きたコンを活用した学校広報活動の充実  
・地域の人材が参画する学習の実施
- 取組目標⑱ 学校園間の接続や連携の推進  
方策 ・幼稚園・保育園・中学校・高校との連携 ・社会教育施設とのネットワークづくり
- 取組目標⑲ 地域全体の教育力の向上  
方策 ・学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進 ・コミュニティ拠点としての学校整備
- 取組目標⑳ 自律的な学校経営の実現  
方策 ・エビデンスに基づく検証サイクルの推進・教育委員会との連携  
・働き方の意識改革の推進（超過勤務時間の減少・年次休暇取得の奨励）